

### 事務事業評価シート(平成22年度実績分)

#### (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
02508	情報化推進事業	まちづくり政策課	情報有線係	一ノ瀬 元広	加藤恒男
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 10 日	連絡先(内線)	2620
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0225	情報通信事業事務		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	4節	活力と夢を育む情報化を推進する	
		項[基本施策] (コード選択)	342	情報化による行政サービスの効率化と拡充	
主な取り組み (コード選択)		3421	情報化による行政サービスの高度化と業務の効率化		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 12 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明		終期設定なし	

#### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

インターネットを利用して、町民が求める行政情報・行政サービスをいつでも提供できる状態にする。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 ホームページに、最新の行政情報を掲載する。
- 2 インターネットを通じ、町に届出・申請・申込みができる電子申請サービスを提供する。
- 3 公共施設予約状況、図書館蔵書を町民が検索できるサービスを提供する。
- 4

指標化

#### (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	ホームページの更新回数	回	250	277	150	1.85	277
	説明	1年間のホームページの更新回数	目標値設定の根拠	過去3年間の平均数値				
②	指標名	電子申請・様式取得が可能な手続き・届け出の種類	種類	133	176	98	1.80	176
	説明	ながの電子申請サービス登録件数	目標値設定の根拠	H21状況調査により把握した手続き218種類のうち、事務処理上電子化できないとされた120種類を除いたもの				

#### (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)	
①	指標名	ホームページ年間アクセス件数	件	239,971	232,361	200,000	1.16	232,361
	説明	ホームページトップページへのアクセスカウンタ数	目標値設定の根拠	1日400件→500件を目標とする。				
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明		目標値設定の根拠					

#### (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	6,379	5,309	6,310					
対前年比		%	#DIV/0!	83.2	118.8					
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)										
B)一般財源(税金)			6,379	5,309	6,310					
①事業費		(千円)	3,634	3,634	4,696					
対前年比		%	#DIV/0!	100	129.2					
②人件費の概算		(千円)	2,745	1,675	1,614					
対前年比		%	#DIV/0!	61	96.3					
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23				
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.05 0.05 0.05	0.37 0.20 0.20	0.42 0.25 0.25	2,745	1,675	1,614	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

観光サイトの土産物カテゴリの追加、ブログの開設、上伊那安心・安全マップ(地図情報)の公開等内容の充実を図った。情報担当者会議を通じ、各課所管の掲載情報の整理と充実を呼びかけてきたが、顕著な改善を図ることができなかった。平成22年3月に第2次地域情報化計画を策定した。この際実施したアンケートの結果では、町に「電子行政サービス」として、「メール配信サービス」「インターネットにより申請届け出のできるサービス」「公共施設の予約」が上位3位に挙げられ、期待する効果としては、「行政情報の提供の充実」「手続きに関する時間・費用の削減」「申請・届け出・予約などの利便性向上」が上位に挙げられている。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

23年度予算見積書への反映  あり  なし

情報担当者を中心に各課で町民が必要とする情報が掲載されているか確認作業を行い、不足している情報を追加掲載する等ホームページの掲載情報を整理・充実させる。

[反映内容]  
委託料

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

ニーズにあった情報化を行い、行政情報、行政サービスが利用者の手に届く情報であるよう充実させること。

- A. 貢献度 大     D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持   
  イ. 見直しのうえで継続する   
  ウ. 終期設定   
  エ. 廃止   
  オ. 休止



b 上記 a~e を選択